



泉のほとり

・三位一体後第十七日

今月の詩編「第四十四編」

我らの魂は塵に伏し

腹は地に着いたままです。

立ち上がって、我らをお助けください。

我らを贖い、

あなたの慈しみを表してください。

愛に根差し、愛に立つて

エフエソは、小アジア(今のトルコ)の西の端にある港町です。当時はギリシヤ人が住んでいました。そこにパウロが伝道して教会を建てました。大きな教会ではなく家の教会と呼ばれる小さな教会です。ギリシヤは当時世界で最も進んだ文化を持っていました。ソクラテスやアリストテレスなど、今でも知られた学者を多く生み出しました。ですから自分の文化に誇りを持っていました。そういう人々に主イエスの死と復活を述べ伝えるのは容易ではありません。その教会を励ますために、この手紙は書かれました。

第 三章まゝ、リストの福音とは何か、どれほどすばらしいかが書かれ、第四章からは、その福音に生きる者の生き方が説かれます。その第三章の終わり、パウロは自分の祈りを記します。

彼が第一に祈ることは、主が教会員たちの内なる人を強めてくださることです。主イエスを受け入れると、わたしたちの中に「丙なる人」が生まれます。この人は、御言葉を喜び、聖餐を受けたいと願います。そのために毎週礼拝に集うのです。外なる人は日々古びて行きますが、内なる人は週ごとに新たに なります。この人が強められると、わたしたちはますます確かな信仰に生きるようになります。

そしてその信仰によって、キリストがわたしたちの中に住んでくださいます。これは不思議なこと

ですが、でもキリストはそのためにこの世に来てくださったのです。

キリストに住んでいただくと、わたしたちは愛に根ざし、愛の上に立つ人になります。もともとわたしたちは、自分のためにしか生きられず、人を愛することができません。そういう者が、キリストの愛の中に根を伸ばし、その愛の上に立つことによって、人を愛せる者になります。

そしてそのように、キリストの愛の中に根を張ると、その愛が果てしないことがわかります。土が薄ければ、木は十分に根を張ることができず、少しの風でも倒れてしまいます。でもキリストの愛は果てしがないので、いくらでも根が伸ばせます。

そのようにしてわたしたちは、キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さを知ります。長さは横の長さ、深さは奥行きです。どちらも果てしないものです。その広さは目がくらむほどです。愛のないわたしたちは、キリストの愛にも適当なところで見当をつけませんが、聖書を読むたびごとに、思い込みが打ち破られ、キリストの愛の大きさを思い知らされます。

そしてその経験が、わたしたちを力づけます。日本人も自分の伝統文化に自信を持っていますし、教会は小さいです。でもキリストの愛の果てしない大きさに触れると、それが原動力となって、わたしたちも福音を述べ伝えるのです。

(エフエソ三・一四〜二一)

夜の祈り

しかし主はわたしをすべての悪い業から救い出してくださいませ。

（第二テモテ四・一八）

わたしが眠れても

あるいは眠れなくても、

あなたの恵みが

眠ることはありません。

わたしが働いていても

あるいはわたしが思うように

働けなくても

あなたの恵みは働いています。

わたしの眠りが

ベッドの中の短い時間であつても

あるいは土の中の長いものであつても

あなたは目覚めておられます。

そしてわたしを目覚めさせてくださる。

わたしがあなたに向かつて

目覚めるように。

我々に神の恵みが絶えず注がれていることを、
優れて実証してくれるもの。

カルヴァンの言葉

R・ポーレン著 「祈る」より

楠原博行氏の訳による

今日のお知らせ

○第二礼拝後、ハイデルベルク信仰問答を学ぶ会をします。第三主日、問八八〜九一の学びです。数少ない交わりの機会です。どうぞご参加ください。七日（水）午後八時からオンラインでも学び会を行います。

○午後、役員会の運営委員会のほか、各種委員会が開かれます。

○吉村牧師は、六日（火）オンラインで開かれる静岡説教塾の説教セミナーで講師を務めます。

○説教塾のための献金の呼びかけに改めて、九月中に、四五名の方が総額三万八千円の献金をしてくださいました。心から感謝いたします。説教塾には現在二四五名の牧師・信徒が在籍していますが、その学びを助けるために用いさせていただきます。

ディアコニアショップより

本日、次のようにディアコニアショップ
を開店致します。

開店時間

第一礼拝終了後から一〇時五〇分

店内が密にならないように教会役員がご案内致します。

また、QRコードからお申込が可能です。

次のQRコードをスマートフォンで読み込んで頂くとオンラインでご注文頂けます。お試しください。



聖書の会

● 休会中です。

再開の日程が決まり次第、

お知らせ致します。



次週礼拝

● 二回礼拝 第1礼拝(9時30分)

第2礼拝(11時)

讃美歌 讃心1363番 やさしい目が
説教 「死後の命を待ち望む」

聖書 IIコリント5章1〜10節

説教者 吉村和雄 牧師





二回礼拝 (午前9時30分、11時)

讃美歌 讃21 363番 やさしい目が
 説教 「父の業を行っているのであれば」
 聖書 ヨハネ10章30節～42節 (新約P187)
 司式 石川一兄 説教者 黄允滉 副牧師
 聖餐司式 吉村和雄 牧師・黄允滉 副牧師

前奏曲「たえなる道しるべ」 D.ウット

○ 讃美歌21 363番

1. み神の力は 山を起こし
 海原を広げ 空をつく。
 深い知恵により 日は輝き
 月は照りわたり 星もめぐる。
2. み神はめぐみで 地を満たして、
 造られたものを よしとされた。
 見よ、その不思議は 大海にも
 わが歩む地にも 大空にも。
3. 花も木も示す、主のみ栄え。
 雨雲も風も 主に従う。
 すべてのもの皆 みむねにより
 造られ守られ、ここに生きる。

アーメン

○ 「やさしい目が」

1. やさしいめが きよらかなめが
 きょうもわたしを みていてくださる。
 「まっすぐにあるきなさい」とみていてくださる。
 2. おおきなてが あたたかいてが
 きょうもわたしを ささえてくださる。
 「はなれずにあるきなさい」とささえてくださる。
 3. かぎりのない ひろいところが
 きょうもわたしをまもってくださる
 「やすらかにあるきなさい」とまもってくださる。
- アーメン

聖餐曲「主イエス・キリスト至高の善よ」 J.S.バッハ

後奏曲「ソナタ第2番より」 F.メンデルズゾーン